

明和町内企業 CSR 紹介 アイリス南郊株式会社

専務取締役 辻 光章氏

〒515-0302 多気郡明和町大淀 2229-1
TEL 0596-55-8282 FAX 0596-55-8283
本社所在地 松阪市山室町 2358-11



CSR 活動取材させて下さい！

うちの会社の活動を紹介して！
地域の為に何かしたいと思っている！
そんな企業担当者様、是非上記まで
ご連絡ご相談下さい！

担当：山田・西中

障がい者雇用促進への試行錯誤

平成 12 年から介護事業に進出し、平成 19 年に介護付き有料老人ホーム「煌」を開設。以降、サービス付高齢者向け住宅「翔」「憩」等幅広く事業展開をされており、現在 120 名の職員のうち、障がいを抱えてみえる方を 6 名雇用されているアイリス南郊さん。今回は辻専務に多くの障がい者を雇用するに至ったその思いと、それにもとづく今後の事業展開などについてお話を伺いました。

初めて障がい者の方を雇用したのは、平成 27 年。当時、障害者雇用率未達成という事でハローワークからの指導を受けた事がきっかけだったそうです。

「人を育てる会社でなければならない」。社社とも言える現会長の日頃の言葉にも後押しされ、まずは精神に障がいを抱える方を 1 名、介護補助という形で雇用されました。その方の心身にとって負担の少ない時間帯で働いてもらったり、その方が何でも相談できる担当職員を付けたり、試行錯誤をしながらの始まりでした。当時は職員さんの戸惑いも大きかったそうです。そうした中で辻専務は、障がいを抱える職員に他の職員と同じ業務量とレベルを求めるのではなく、「この仕事はこの方でなければ困る」という状態を作ることに着目されました。いわゆる「業務の切り出し」です。ハンデを抱える方にとってバランスを求められる事は大変厳しい事ですが、業務範囲は狭くてもその方にとって得意な業務を切り出す事で、周りの職員さんの負担は軽減され、ご本人の力もより発揮しやすくなるのではないかと。その「働く環境」づくりにシフトチェンジをされました。

「人を育てる会社」であることが、 「会社の成長」につながる

業務の切り出しを行う様になり、結果的に一人また一人と障がいを抱える方の雇用も進みました。雇用形態もその人の特性に応じて、正規、フルタイムパート、時間パートと分け、業務内容も介護業務専属の方も 2 名いらっしゃいますが、そこに限定せず、調理補助や居室掃除担当、館内外の美化担当など、その方の持っている力に着目をして専門業務を任せる形を取ってみえます。

今回の取材で、特別支援学校から就職され現在 2 年目を迎えた伊勢谷さんに直接お話しを伺う事ができました。伊勢谷さんは介護の仕事も行う中で、居室の清掃業務を専門とされています。ご本人は謙遜されていましたが、辻専務曰く「彼の居室清掃は本当にきちっとして、現場職員も頼りにしている」との事。この仕事続けながら自分の給料で新車を買う事が今の目標だそうです。



食事介助する
伊勢谷さん

辻専務はこうおっしゃいます。「これまで食事や入浴など、その業務を回す事がどうしても職員の中での優先順位が高かったと思います。でも、障がいを抱える方と共に働く環境の中で、職員一人一人が彼らに物事一つ伝える上でも、どう伝えたら理解してもらいやすいか、どういう話し方をしたらお互い気持ちよく仕事ができるかを必然的に考えるようになりました。そんな中で、入居者さんへの接し方も又、業務を回す事だけでなく、入居者さんの思いに沿った接し方へと変わっていききました」。正に、「人が育つ事が会社の成長につながっている」。お話しを聞いてそう感じました。

10 年先を見据えた企業としてのあり方

現在、アイリス南郊さんは障がいを抱える職員さんと共に農園も始めたそうです。その名も「かがやき農園」。耕作放棄地の増加や農業の高齢化が進む中で「農福連携」を見据えた取組です。「素人が見様見真似で始めました」と辻専務は笑っておっしゃいますが、昨年はお米 8 俵をネット販売した所づくに完売。無農薬で育てたお野菜は入居者さんの食事に提供されています。10 年後も元気で、そして障がいの有無に関わらず誰もがいきいきと働き続けられる明和町に寄与する企業でありたい。そんな思いを真摯に語っていただきました。



「かがやき農園」では農業指導をして下さる高齢者を探しています。